

KOSMIE
RACING TEAM

中小路 良輔



2007年 全日本カート選手権

東地域 第3戦

レースレポート

2007年6月17日 SUN

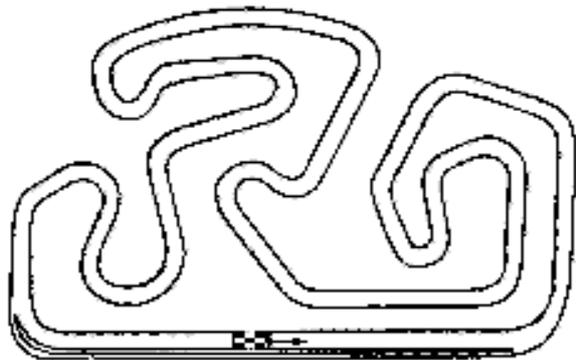
全日本カート選手権 東地域 第3戦

ICA Class

開催地 : SUGOマルチコース(宮城県)

<http://www.sportsland-sugo.co.jp/index.html>

ゼッケン : 24
フレーム : KOSMIC T11
エンジン : VORTEX RVA
タイヤ : DUNLOP DCS
チーム : KOSMIC R.T.J
エンジニア : 桑山 たかはる
アドバイザー : 山田 淳平
メカニック : 中小路 秀春
ドライバー : 中小路 良輔



6月15日(金)【コースイン】

前回の練習時に、エンジンのナラシを4基中3基まで終わらせていたので、今日は、チームのテントの組み立てや、明日のレース当日の準備などを中心にやりました。雨上がりだったので、エンジンナラシをするエンジンがもう一基あったのですが、明日の朝やることに決めました。お昼頃には、テント等の準備も終わり、今日は、走っている人を見て、走るイメージを作りホテルに戻りました。



6月16日(土)【前日練習】

今日の走れる回数は、6回。1回目にエンジンナラシをし、2回目からは、エンジンを練習用に載せ換えて走りました。途中で新品タイヤを使って、グリップが上がった時に車の動きがどうなるか等を確認したり、ラインなどの修正をしました。最後には、上手くまとまり、今日の練習が終わりました。

6月17日(日)【レース当日】

公式練習

新品タイヤを使って走りました。タイムは、3番タイム。悪くは無いのですが、あとコンマ1~2秒位、タイムが上がって欲しいです。土曜日に新品タイヤを使って出したタイムと変わらなくて、何故だろうと疑問が残った練習となりました。



タイムトライアル



単独でアタックしました。5周目にベストラップが出たのですが、タイムは、公式練習の時と殆ど変わらないタイムでした。路面の変化とか確実にあると思うのに何故だろう。これは、自分の乗り方やセッティングに原因があるなと思いました。でも、とりあえずは、今頑張るしかない。順位は、4番。榛名の時よりは、全然レースになる順位。榛名の分も頑張らなくては。

予選

スタート前に、『タイヤを守るセッティングにした』と言われ、その時は、『そうなんだ』ぐらいしか考えていなかったけど、レースがスタートして、1、2周で車が全然違うことに気がきました。とてもスルスルしていて、『接地圧を掛けないで走ればタイヤを守れるんだ』と思いました。でも、5周目を過ぎてペースが上がらない。前の集団に離されて行く。でも、ここで焦ってはダメだと思い自分のペースで走りました。中盤位で、後ろの人が抜いてきました。『やっぱり来たか』1人目に抜かれた時は、まだ平常心でタイヤが減るからと思っていたのですが、2人目、3人目とズバズバと抜かれ『これは、やばい』タイヤの事などを考えている余裕が無くなり、ペースを上げて、順位を上げることに専念しました。後半になって『ペースを落とせ』とチームからサインがあって、ピットインしました。



決勝ヒート

予選で、タイヤを思っていた以上に消耗してしまって、決勝は、『タイヤが無くなるかもしれない』と言われました。でも、皆もタイヤが無いのは、同じ。頑張れば何とかかなと思って決勝レースに臨みました。レースがスタートしました。セッティングを戻し、車は、すごく良い。これならいける。1人抜いて少しその前の人と間隔が開いても、どんどん追い付いて行きました。10周過ぎた辺りで、ラップタイムがコンマ2秒くらい落ちてしまって、前の人とペースが同じくらいになり、差が縮まなくなりました。『やばい…タイヤが無いんだ』もうタイヤのグリップがなくなってきて、無理してコーナリング速度を上げたりすると、ズルズル滑ってしまう。どうにかして、前との差を縮めたかった。色々やったけど、それがミスになってしまう。そして前との差が広がる。でも前の人も、たまにミスをするので前との差は、変わらないままでした。レースの後半になって、ラップタイムがもっと落ちてきました。だんだん前との差が広がる。でも必死に前を追いかけてました。そしてチェッカーを受けました。



レースが終わって…

今回のレースは、予選で失敗し、それが決勝まで響いたレースだと僕は、思いました。予選の時にセッティングを変えて、上手く走れなかった。タイヤのマネージメントなんて、あまり考えていなかったし、タイヤが減った時にどうなるかさえも、あまりわからなかった。そして、決勝も走り切り、タイヤのグリップの低下等を感じて【レースの組み立て方】【タイヤを考える】そのことに関して、とても勉強になりました。すごく悔しかったけど、次に絶対つなげられると思います。あと、体力をもっと付けたいです。体力があれば、タイヤが減ってきた時に車が暴れてしまうのを力で押さえられたのかなと思ったからです。それと、速くなります。もっと練習して、その練習の中で、たくさん試して速くなります。次のレースまでに自分の中で課題を作り、努力をして速さを身に付け、次は、結果を出します。

中小路 良輔

ICAクラス

■開催日:6月17日 ■天候:晴れ ■路面状態:ドライ

■開催コース:SUGOマルチコース(宮城県) ■参加台:14台

Pos.	No.	DRIVER	TEAM	FRAME	ENGINE	TIRE	Q. F.		予選
1	20	綿谷浩明	SPS川口	TONYKART	VORTEX	DL	計測不能	—	7
2	17	飯島宗一郎	まえた眼科&パドローネRT	Birel	TM	DL	50.148	1	1
3	15	平山直弥	レーヴRT	TONYKART	VORTEX	DL	50.544	7	5
4	24	中小路良輔	KOSMIC RTJ	KOSMIC	VORTEX	DL	50.410	4	6
5	11	土井勝利	K.SPEED WIN	ZANARDI	TM	DL	計測不能	—	DNS
6	25	早崎友哉	モリシタレーシング	Birel	TM	DL	50.762	11	9
7	21	高塩紀光	AプロジェクトRT	TOPKART	TM	DL	50.721	10	11
8	8	中村 純	ハラダカートクラブ	Birel	TM	DL	50.547	8	4
9	16	福田浩之	M-BITドリームHKC	Birel	TM	DL	50.221	2	8
10	26	前原佳明	チームエツフェガーラ	Birel	TM	DL	50.603	9	12
11	21	中村 ひかる	チームオーガスト	TONYKART	TM	DL	50.452	5	3
12	8	沼島 吟	チームストレガ	TONYKART	TM	DL	50.391	3	2
未車検 失格	16	小河 諒	Sugiyama Racing	TONYKART	VORTEX	DL	50.846	12	10
未車検 失格	26	梅原 卓稔	マキシマテクニカルスポ ーツ	TONYKART	VORTEX	DL	50.465	6	13